

理事



与板町商工会女性部
上村由起子

- ①：製麺業
- ②：絵画鑑賞、良寛様に関する本を読むこと
- ③：6年前に部長の重責を担い、部員の皆さんと共に、数多くの地域振興に携わってきました。与板は人情味あふれる城下町です。これからも活動の中に楽しみを見い出し、「和」をモットーに地域になくてはならない存在でありたいと思います。

理事



吉田商工会女性部
田中 淑子

- ①：呉服小売業
- ②：水泳、卓球、お茶、お花、めったに行けない海外旅行、英会話
- ③：私が女性部長を引き受けた一番の理由は、ある事業所で、女性部に入って「何のメリットがあるの？」と質問され、即答できなかったからです。これから3年間、少しでも会員の人達からメリットを感じてもらえるように、役員の人達の知恵と力を借りながら、理事としても努力させていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

理事



高柳町商工会女性部
小林紀久子

- ①：手漉き和紙製造販売業
- ②：多忙な毎日ですが、就寝前に編み物をするのが楽しみです。
- ③：この度、初めての商工会女性部長、そして県女性連理事という大役を務めさせていただく事になりました。部員同士、お互いに無理せず、できることを「明るく・楽しく」活動できるように努力していきたいと思っております。皆様、どうぞ宜しくお願い致します。

理事



川口町商工会女性部
佐藤栄美子

- ①：飲食店
- ②：踊り
- ③：この度、川口町商工会女性部で部長2期目、さらに、県女性連の理事を仰せつかりました。まずは、皆さんの話を聞き、懇談しながら、輪を大切に女性部及び理事活動をやっていきたいと考えております。元気と笑顔を絶やさず努めてまいりますので、よろしくお願いたします。

理事



大和商工会女性部
並木佐智子

- ①：総合建設業
- ②：映画鑑賞
- ③：ひとりではできることは限られていますが、Never give up! をモットーにみんなで力を合わせれば、困難なことでも可能できると信じています。人との出会いを大切に、県女性連と地元との良き橋渡しとなれるよう務めさせて頂きたいと思っております。よろしくお願いたします。

理事



小出商工会女性部
貝瀬 直子

- ①：スポーツ用品小売販売業
- ②：ゴルフ、スキー、旅行
- ③：この度前任者の浅井さんより理事を引き継ぎました貝瀬と申します。この厳しい社会状況の中で頑張って商売をしている仲間達と勉強をさせて頂きまして。解らない事だらけですが、一つ一つ吸収していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

理事



大潟商工会女性部
縄 美枝子

- ①：鋼製建具、硝子工事業
- ②：音楽鑑賞（ピアノ曲）
- ③：海と温泉、「かっぱ伝説」の町大潟。今年も大潟かっぱ祭りが盛大に行われました。この祭りでは「ウーマンパワー」全開で、祭りを賑やかに盛りあげています。出愛は一瞬、出愛えば一生！ご縁を大切にしていきたいと思っております。

理事



松之山商工会女性部
柳 明美

- ①：旅館業
- ②：スキー・ゴルフ
- ③：松之山商工会女性部は、10年間休部というブランクを乗り越え再活動を始めました。現在会員は16名と少数ですが、会員同士の交流を主な活動としております。活動は小さなものですが、継続は力なりと信じ、地域の元気は女性からと日々活動しております。

理事



妙高高原商工会女性部
森 俊江

- ①：旅館業
- ②：旅行
- ③：この度、大役の理事を仰せ付かりました。なかなか明るさの見えない世の中ですが、皆様の声に耳を、心を傾け一生懸命やっていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

理事



吉川商工会女性部
吉村 早苗

- ①：食品・衣料品小売業
- ②：読書・韓流ドラマ・ソフトエアロビクス
- ③：部長一年目で、県女性連理事という大役に最初は戸惑いましたが、いろいろな地域の部長さん達と交流する事ができ、とても勉強なっています。微力ですが、自分なりに県女性連のパワーを少しでも地元へ届けるお手伝いが出来ればと思います。吉川は、パラグライダーの舞う山があり、海にも近く、おいしいお酒のある町です。小さな町ですが、元気で笑顔の女性部を目指して頑張ります。よろしくお願い致します。

監事



見附商工会女性部
五十嵐トシ

- ①：美容業
- ②：無農薬（EM生ごみ使用）での花壇作り、野菜作り、読書
- ③：見附商工会で女性部長として3期目、さらに県女性連の監査の役を拝命し驚きやら責任の重さを感じています。今回は理事もすっかり新しいメンバーになり、これからの女性部も変わっていく予感がします。今までの事業をやりながら、刻々と変る社会情勢に対応する事業についても、お手伝いさせていただきたいと思っております。よろしくお願いたします。

監事



加治川商工会女性部
中野 壽

- ①：注文家具製造業
- ②：感動に出会う事
- ③：部長歴が長いからとの理由で監事に任命されました。沢山の人の出会いに感謝し、そこから得たものを糧に3年間務めさせて頂きたいと思っております。まだまだ未熟者ですが、宜しくお願い致します。

女性部長等研修会並びに女性部主張発表大会

六月十二日(火)～十三日(水)、湯沢町「ホテル双葉」において、一四一名の参加のもと、女性部長等研修会が開催されました。末武県女性連合会、石田県連合会副会長の挨拶の後、女性部主張発表大会が開催され、県内六ブロックから選出された代表者六名から主張を発表して頂きました。(後述)

その後、(旬)ユーザー研究センター所長の宇井美智子氏を講師に迎え、『今こそ「天の時・地の利・人の和」を活かそう魅力的な商工会女性部のリーダー像』と題して、講演会を開催しました。

「四十五年間、お世話になった商工会に恩返しをしたいという思いから、Facebookというソーシャルメディアを活用し、地域の行事や特産品を取り上げていきたいと考えた。

表参道にある新潟県産品の販売業を行うアンテナショップ「表参道ネスパス」をもっと多くの人に親しんでもらうにはどうしたらよいかと相談され、Facebookで宣伝することを引き受けた。イン



旬ユーザー研究センター
所長 宇井美智子氏

パクトを与える重要な第一号として、新潟から雪を運び、表参道にかまくらを作り、その中に商品を並べた様子を紹介したところ、大好評だった。

新しい時代は新しい宣伝ができる時代に入った。その宣伝方法とはソーシャルメディアである。ソーシャルメディアは、誰でも参加でき自由に使えるツールであり、今の時代はそれを無料で利用できるようにになった。経営は利益を上げるものでなければならぬ。そのためにはコストを下げなければならぬ。それには、ソーシャルメディアを使って、自分の商品を無料でPRすることが最適である。

ただし、Facebookの宣伝としては、自分で発するより、第三者からPRした方がより効果がある。また、マスコミへの上手な売り込み方として、宣伝文句は六〇〇字以内にとめる。担当者名を調べ、不明ならば秘書室・社長名を出す。取材後は年賀状や暑中見舞いを出すことなどである。こうすることで、取材される可能性が上がる。最後に、商売は勝たなければならぬ。これからは女性部の方々も是非インターネットの世界にチャレンジする勇氣を持って欲しい。」と講演されました。

女性部主張発表大会

発表者及びテーマのご紹介 (敬称略・発表順)

- | | | |
|---|--|--------|
| 1 | 関川村
「女性部活動に参加して」
地域参加の活動をめざして | 佐藤 秀子 |
| 2 | 上川
「女性部活動と地域振興・まちづくり」
地域と共生する女性部をめざして | 遠藤 佐和子 |
| 3 | 水沢
「女性部活動と地域振興・まちづくり」
結集!! 私たちの雪まつり・人のふれあい | 井口 敬子 |
| 4 | 三和
「女性部活動に参加して」
笑顔つくりのお手伝い | 丸山 正枝 |
| 5 | 下田
「女性部活動と地域振興・まちづくり」
安心して暮らせるまちづくり | 大西 直子 |
| 6 | 新穂
「女性部活動と地域振興・まちづくり」
笑顔と共に誕生し、成長してきた女性部 | 齊藤 ヒサ |

主張発表大会は、日頃の女性部活動等を通じて得た体験や成果等を発表し、相互研鑽することで、女性部リーダーとしての意識の高揚や資質の向上を図ることを目的として開催されています。今回は、代表者六名の方々より、女性部活動を通じて培った経験と成果を発表していただきました。審査委員長の榎新瀨日報社論説委員室の佐藤論説委員をはじめ、五名の審査委員による厳正な審査の結果、最優秀賞(県知事賞)には、水沢商工会女性部の井口敬子さんが選ばれました。また、他五名の方々には優秀賞(県連会長賞)が贈られました。なお、最優秀賞受賞者の井口さんは、新潟県代表として七月十日(火)に茨城県のつくば国際会議場で開催された、「関東ブロック商工会女性部主張発表大会」に出場されました(八頁参照)。

最優秀賞

発表者 ひとことメモ

商工会女性部主張発表大会 受賞に関してひとこと

水沢商工会女性部
井口 敬子



この度の主張発表に際し、最優秀賞をいただき、過日、関東ブロック大会に行き参りましたが、残念ながら全国大会への切符を得る事はできませんでしたが、この大きな体験は私の人生のページにとても貴重な良い思い出となりました。ありがとうございます。二年前に全国大会が開催された、あの立派なつくば国際会議場に、約千人の女性部員を前にして、まさか自分が立てるとは夢にも思いませんでした。十人の発表者の方々には、それぞれの活動の熱い想いを十分間に凝縮し素晴らしいものでした。地方の商工会での女性部の小さな活動が大きくなつたりとなつて、日本を動かして行くんだなと決って大袈裟ではなく、確かな手応えを感じました。私の発表の為に、湯沢町、そしてつくば迄応援に駆けつけてくれた商工会の女性部員の方々に、この場をお借りして改めて心から御礼を申し上げます。本当にありがとうございます。嬉しく有り難く部員各位との絆を深く、強く感じました。いい仲間です。これからも手を携えて一緒に進んで行きたいと思っております。

グループディスカッション

女性部長等研修会の2日目、グループディスカッションが開催されました。

「部員増強の方策について」「おもてなしプランについて」をテーマとして、8班に分かれて、意見を出し合いました。その後、班ごとに意見を発表していただきました。「部員増強の方策について」の各班の主な発表内容は次のとおりです。ぜひ、部員増強運動の参考にしてください。

1班

会員の家族や事業所の方に花いっぱい運動で花をあげて喜んでもらう。名前だけでもいい、一度だけの参加でいいと言って勧誘する。部員増強のための食事会を開いてみる。



2班

増えない原因として、商工会員の減少に伴う部員の減少、行事が多く大変そうなので入部拒否、女性部員の部員増強に対する意識が弱い、後継者に嫁がない等が挙げられる。増やす方策として、広報誌等で女性部活動の楽しさをアピールし、商業部会、工業部会と同じ部会同士で勧誘する。



3班

女性部活動の広報を新聞に折り込み、実際に加入した人がいる。また、諦めずに何度も誘いに行くことで、今まで断っていた人も状況が変わって加入してくれると思う。



4班

部員増強の方法として、事業所の仲間や社長にお願いする、楽しいイベントを計画し、参加していただく。また、商工会に入っているメリット（講演会や貯蓄共済のメリット等）を強調し、女性部員増強につなげる。女性部活動が地元に対して感謝の意味でのボランティアであることを強調し、部長の求心力を上げて説得する。



5班

行事と会議が多いため加入しても手伝えなれないと思う方が多いので、まずは女性部の活動を知っていただき、楽しいことをアピールする。みんなから喜ばれるような行事を計画する。若手リーダーの発掘。部員以外の方にも事業の参加を呼びかける。



6班

チラシや広報誌等でアピールし、全戸配布する。誘い方として、同じ部会のグループで勧誘、親子で入っていただく、親会の役員の奥さんを誘う、名前だけでもいいと誘う。最初は参加しなくても誘われるうちにボランティア精神が芽生えるのでは？



7班

第1段階として、理事会の席に入部申込書を置いておく。入部してくれそうな人の情報をみんなで共有する。第2段階として集団で勧誘。事業内容を写真を添えてアピールする。第3段階として女性部の広報誌だけでなく、親会の広報誌にも載せてもらう。



8班

部員を増やすために、活動のパンフレットを作り、女性部を知ってもらう。また、誕生日に花を贈る。新しい部員が一人でも入ると、その人のつながりで新しい人が入ってくれるので、理事の方たちにも頼む。



平成24年度 関東ブロック商工会女性部交流研修会開催



最優秀賞
静岡県由比町商工会
望月 利江さん

優秀賞
群馬県みなかみ町商工会
池田 久子さん

優良賞
千葉県富里市商工会
國司 恵子さん

七月十日(火)から十一日(水)の二日間、茨城県において、一、〇〇〇名を超える参加者のもと、オープニングアトラクションが行われ、関東ブロック商工会女性部交流研修会が開催されました。新潟県からは六十九名参加いたしました。

一日目は「つくば国際会議場」を会場に、関東ブロック主張発表大会が開催され、各都県連の代表者による発表がありました。充実した内容で、レベルの高い大会となりました。成績は次のとおりです。



翌日は、「水戸・借楽園」を見学、「水戸ドライブイン」を視察し、その後、「山水亭」にて昼食をとり、一路新潟へ向かい、2日間の日程を終了しました。

主張発表大会に続いて、(株)農業法人みずほ取締役社長の長谷川久夫氏から「生産者の立場と消費者ニーズを求めて」と題して、講演会が行われました。

その後、会場を「ホテルグランド東雲」へ移動し、約四〇〇名の参加のもと、情報交換会が行われ、各都県の芸能を披露しながら大変和やかな雰囲気の中、他都県の女性部の皆様と交流しました。

なお、最優秀賞の望月さんは、関東ブロック代表として十月に開催される全国大会(京都大会)へ出場することとなりました。



新潟県代表 井口 敬子 さん

今後の予定

●第14回 商工会女性部 全国大会(京都大会)・視察研修

日程：平成24年10月15日(月)～17日(水)

【大会】京都府「国立京都国際会館
大会議場及びアネックスホール」

【交流会】京都府「グランドプリンスホテル京都」
他

編集委員

【県女性連正副会長】
末武 榮子・五十嵐 芳枝
金子 トシ子・中嶋 千代子
本間 照代

【事務局】
新潟県商工会連合会組織指導課
「しなの川」担当係
電話 025-283-1311
FAX 025-285-1252
http://www.shinsyoren.or.jp/
women/women.html

キャップを集めてワクチンに!!

今年度から県女性連統一事業として、エコキャップ回収事業に取り組むこととなりました。飲み終わったペットボトルのキャップを捨てようとしているあなた!もったいないですよ!

キャップを800個集めると、ポリオワクチン1人分が購入できるのです。また、キャップ400個が焼却されると3.15kgのCO₂が発生するため、環境保護にもつながります。

いつも捨ててしまうだけのキャップを皆様の力で価値あるものにしませんか?
ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

あしがき

ご清覧いただきありがとうございました。

本誌の発行に際しまして、ご多忙の時期に関わらず、ご寄稿等ご協力頂きました皆様方には深く感謝申し上げます。「しなの川」も本号で60号となりました。編集に携わりながら、女性部活動の魅力を改めて感じる事ができました。

今後も充実した誌面内容になるよう各女性部の皆様のご協力をいただきながら、がんばってまいりますので、掲載希望等がございましたら、事務局までお申しつけください。今後ともよろしくお願いいたします。